

# アブソリュート

2024.7.18 thu - 9.23 (holiday) mon

## チェアーズ

現代美術のなかの椅子なるもの



ローザス《Re: ローザス!》2013-2024年(継続中)。

アンネ・ファン・アールスホットによる《Re: ローザス!》ワークショップ「マリア・ボードシャブ・リセウム(MABO)が《ローザス・ダンス・ローザス》を踊る」カーイテーター、ブリュッセル、2013年 ©Anne Van Aerschot Courtesy of Rosas

ジム・ランビー《トレイン イン ヴェイン》2008年、公益財団法人アルカンシエール美術財団/原美術館コレクション 撮影: 米倉裕貴 ©Jim Lambie Courtesy the Artist and Sadie Coles HQ, London

開館時間 | 10:00-18:00、金曜日は20:00まで(入館は閉館の30分前まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし8月12日、9月16日、9月23日は開館)、8月13日[火]、9月17日[火]

主催 | 愛知県美術館、中日新聞社 協力 | 株式会社国際デザインセンター

## 愛知県美術館

[愛知芸術文化センター10階]

aomaa  
aichi prefectural museum of art

AICHI ARTS CENTER



# Chairs

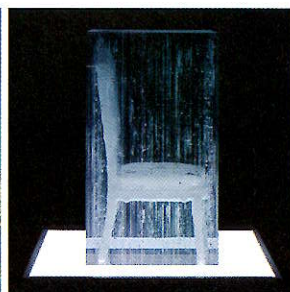
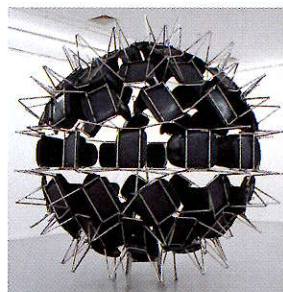
# Absolute

# アブソリュート・チェアーズ

椅子の機能は、座る姿勢を支えるというだけにとどまりません。

椅子はなぜアーティストをも魅了するのか？

権威の象徴として表されることもあれば、身体に寄り添うことで安楽や拘束のための道具となることもあり、また複数が寄り集まることでコミュニケーションの場を生み出すこともある椅子。椅子は多くのデザイナーや建築家の創造性を喚起する究極のテーマであると同時に、アーティストにとっても魅力的なモチーフとなりました。アーティストたちは椅子と結びつく多様なイメージをとらえ、作品を通じて社会の中の不和や矛盾、個人的な記憶や他者との関係性などを浮かび上がらせてきました。現代美術における椅子は、日常で使う椅子にはない極端なあり方、逸脱したあり方によって、私たちの思考に揺さぶりをかけます。本展では、こういった作品を「アブソリュート（絶対的・究極的）」な椅子と呼ぶことにして、デザインの文脈を離れた新たな視点で、主に戦後から現代までの平面・立体・写真・映像・ダンスなど幅広いジャンルの作品約80点における「椅子なるもの」の表現に着目し、椅子という身近な存在から社会や人間の有り様を考察します。



1. [参考作品] ミシェル・ドゥ・ブロウン《ブラック・ホール・カンファレンス》2005年、ヴァル＝ド＝マルヌ現代美術館蔵 2. 椅皮一彦《walkingpractice/ CODE: Evacuation\_drills(SPEC\_MOMAS)》2024年、作家蔵 3. 宮永愛子《waiting for awakening-chair-》2017年 撮影：木奥恵三 ©MIYANAGA Aiko Courtesy of Mizuma Art Gallery 4. 渡辺睦《東大全共闘1968-1969》1968-69年/2014年、作家蔵 5. 副産物産店《Absolute Chairs #1\_rodin's crate》2024年、作家蔵 6. 潮田登久子《マイハズバンド》1981年/2023年、作家蔵 7. アンナ・ハルプリン《シニアズ・ロックンロール》2005年/2010年 Courtesy of ZAS Film AG 8. オノ・ヨーコ《白いチェス・セット/ 信頼して駒を進めよ》1966年/2015年、タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金 ©Yoko Ono

## ◇観覧料

一般 1,500 (1,300) 円

高校・大学生 1,300 (1,100) 円

中学生以下無料

【購入場所】中目黒新聞販売店、Boo-Woo (ブーウー) チケット、ローソンチケット、チケットぴあ、主要プレイガイド、愛知県美術館チケット売場 (当日券のみ)

\* ( ) 内は前売券および20名以上の団体料金です。\* 左記料金で本展会期中に限りコレクション展もご覧いただけます。\* 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳 (愛護手帳)、特定医療費受給者証 (指定難病) のいずれかをお持ちの方は、各券種の半額でご観覧いただけます。また付き添いの方は、各種手帳 (「第1種」もしくは「1級」) または特定医療費受給者証 (指定難病) をお持ちの場合、いずれも1名まで各券種の半額でご観覧いただけます。チケットをお買い求めいただき、当日会場でご観覧 (マイオリD可) または特定医療費受給者証 (指定難病) をご提示ください。付き添いの方は申し出ください。\* 学生の方は当日会場で学生証をご提示ください。

## 関連イベント

### ○ダンスワークショップ「《Re: ローザス!》を踊る!」

ローザス創設メンバーの一人・池田扶美代を講師として招聘。本展出品作《Re: ローザス!》のための椅子を使ったダンスを踊り、撮影した映像が作品の一部として展示されます。

日時: 7月23日 [火] 15:00~16:30 (Aグループ)

7月24日 [水] 10:30~12:00 (Bグループ)、15:00~16:30 (Cグループ)

7月25日 [木] 13:30~16:00 全グループが集まりリハーサル・ダンス発表・動画撮影

場所: 愛知県芸術劇場大リハーサル室 (愛知芸術文化センター地下2階)

定員: 各回30名 \*要申込 (先着順・定員に達し次第、受付終了)

共催: 愛知県芸術劇場 後援: ベルギー大使館

【同時期開催】愛知県芸術劇場「池田扶美代-Rosas レパートリークラス」

日程: 7月21日 [日]、7月22日 [月]、7月23日 [火]、7月24日 [水]、7月25日 [木]

対象: ダンス・舞台経験者 (ジャンル不問) で、全日程に参加可能な方

共催: 愛知県美術館 主催: 愛知県芸術劇場 052-211-7333

### ○ワークショップ

「walkingpractice/ CODE: Knitting\_record [SPEC\_APMoA]」

椅皮一彦 (本展出品作家) と共に「車いす編み機」を連れて名古屋の街を歩きます。

日時: 7月27日 [土] 10:30~12:30、15:00~17:00

集合場所: 愛知県美術館ロビー

定員: 各回8名 \*要申込 (先着順・定員に達し次第、受付終了)

### ○ワークショップ「副産物産店と椅子なるものを作ってみよう」

副産物産店 (本展出品作家) の2人と一緒に、アーティストのアトリエや美術館で収集した廃材を使って、座れそうなものを作ります。

日時: 8月18日 [日] 13:30~15:30 (13:00開場)

会場: アートスペースE・F (愛知芸術文化センター12階)

定員: 15名 \*要申込 (先着順・定員に達し次第、受付終了)

### ○対談「木下知威×伊藤亜紗 椅子と芸術と身体」

木下知威 (本展カタログ寄稿者、歴史学者) と伊藤亜紗 (美学者) が本展について語り合います。

日時: 8月31日 [土] 13:30~15:00 (13:00開場)

会場: アートスペースA (愛知芸術文化センター12階) 定員: 180名 \*事前申込不要

### ○ギャラリートーク (学芸員による展示説明会)

日時: 8月11日 [日]、8月17日 [土]、9月14日 [土] 各回11:00~11:40

7月19日 [金] 18:30~19:10

\* チケットをお持ちの上、開始時刻に美術館ロビーにお集まりください。

申込方法などイベントの詳細については、当館ウェブサイトをご覧ください。



## 愛知県美術館

【愛知芸術文化センター10階】

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2

地下鉄東山線「名城線」駅 /

名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、

オアシス21連絡通路利用徒歩3分

お問い合わせ: 愛知県美術館 052-971-5511 (代) 美術館ウェブサイト <https://www.art.aac.pref.aichi.jp/>